

2017年11月24日

「復興応援 キリン絆プロジェクト」熊本支援
熊本県産牛肉消費拡大推進協議会に支援金を助成
～「くまもとあか牛 ブランド力強化プロジェクト」を応援～

キリン株式会社（社長 磯崎功典）は、11月24日（金）に熊本県産牛肉消費拡大推進協議会（会長 蒲島郁夫）に対し、「くまもとあか牛 ブランド力強化プロジェクト」への支援金として、公益財団法人 日本財団（会長 笹川陽平）の協力のもと、1,000万円を助成します。

熊本県産牛肉消費拡大推進協議会は、畜産関係諸団体の相互協調により、熊本県産牛肉の流通・消費拡大を図り、熊本県の畜産業の安定的発展に寄与することを目的としています。あか牛（褐毛和種）は、熊本県で誕生した全国的に珍しい牛で、現在の飼養頭数は、21,000頭（全国肉用牛の0.8%）、そのうち70%の14,500頭が熊本県内で飼養されています。「くまもとあか牛」は、余分な脂肪がなく、グルタミン酸などの旨味成分を豊富に含んだ赤身が特長で、噛めば噛むほど、肉の旨味を感じることができ、ローストビーフ、ステーキ、焼き肉などによく合います。「くまもとあか牛」のブランド力強化を通じ、消費者のあか牛への関心と生産者の意欲向上を図り、観光業と農業の両面から地域活性化につなげ、あか牛の放牧により、阿蘇地域の最大の観光資源である草原景観を維持し、被災地域の復興にもつなげていきます。今回の支援金は、ブランド構築のための研修、消費者アンケート調査、その他PR動画・ツールの作成、情報発信などに活用されます。

『復興応援 キリン絆プロジェクト』熊本支援は“絆を育む”をテーマに、「食産業復興支援」「地域の活性化支援」「心と身体の元気サポート」という3つの幹で地域に寄り添い、熊本県の復興から未来へつなげる活動の支援を推進しています。

今回の助成は、3つの幹のうち「食産業復興支援」として、熊本地震からの創造的復興に向けて、2016年12月21日に熊本県、日本財団と締結した、『復興応援 キリン絆プロジェクト』熊本支援に関する包括支援協定に基づき、日本財団に設置したキリングroupからの寄付による基金で行うものです。

また、熊本県の「平成28年熊本地震からの復旧・復興プラン」とも連携し、民間企業、行政、公益財団法人が一体となり、それぞれの強みを掛け合わせ、補完し合うことで、より包括的かつきめ細やかな支援を実現することを目指しています。

復興に向けた課題は山積していますが、『復興応援 キリン絆プロジェクト』熊本支援に関する包括支援協定に基づき、被災された皆様のお役に立つことで、将来世代のための創造的復興の加速につながるよう取り組んでいきます。

被災地の一日も早い復興を心より祈念するとともに、キリングroupとして引き続き被災地の皆様の支援に尽力していきます。

キリングroupは「健康」「地域社会」「環境」という3つの社会課題に取り組み、お客様と共に幸せな未来をめざしていきます。



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

【このリリースについてのお問い合わせ先】

キリン株式会社 コーポレートコミュニケーション部

東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス Tel: 03-6837-7028